

令和3年度

# 自己評価報告書

令和4年2月28日

鹿児島医療工学専門学校

## 1. 教育理念、目的

<p>教育理念</p>	<p>鹿児島医療工学専門学校では将来医療従事者となる人材を育成するので「愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」すなわち「愛・信・敬」に基づく教育を実践している。</p> <p>(1)常に本校の学生として正しい礼儀・言動を努める  (2)来訪者、教職員に常に挨拶をするように心がける  (3)授業の始まりと終わりは起立して先生に挨拶する  (4)学内外で学生としての品位を保つように心がける</p>
<p>目的</p>	<p>鹿児島医療工学専門学校は学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、医療を中心にした人材の育成、並びに広く社会に貢献する人材を育成することを目標とする。</p>

## 2. 学校の現況

<p>コロナ渦において、教育の仕方や、学校環境、学生募集など様々な面で変化が求められている。それと同時に学校という人との接点で育む性質の中、オンライン等を強いられ、イベント等も中止など学生たちの多くが不安やストレスを感じている。こういった状況においてもいかに学生生活や教育活動、広報活動を充実できるかを学生・教職員が知恵を出し合い学校の仕組みあり方が大きく変革した年度であった。</p>
---

## 3. 令和2年度の目標と計画

<p>目標</p>	<p>(重点目標)</p> <p>①目標資格合格率100%  ②就職内定率100%  ③欠席遅刻者、退学者、留年者の減少  ④定員充足  ⑤学校生活環境の向上</p>
<p>計画</p>	<p>(目標達成のための具体的事業計画、行動計画)</p> <p>①<b>目標資格合格率100%(卒業延期者を極力減らす)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい授業、親切・熱心な指導の実施</li> <li>・夏休み期間第2種ME技術実力検定対策の実施</li> <li>・個別指導、少人数教育の実施</li> <li>・国家試験集中講義の実施</li> </ul> <p>②<b>就職内定率100%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職指導担当の教員を配備し、就職相談、面接指導、書類指導を行う。</li> <li>・就職情報は事務が管理し掲示板への掲示、ホームページへの掲載(在学中3年生より利用可能なページ)などいつでも学生が情報を得られる環境を整備する。</li> <li>・求人票をより多く獲得するため病院など企業等との連携を密にする。</li> <li>・求人票をいただいた病院等については、就職指導の際必ず口頭案内を行う。</li> </ul> <p>③<b>欠席遅刻者、退学者、留年者の減少</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出欠、遅刻の状況把握を徹底し、その都度指導を行う。</li> <li>・家族との連携の強化を図る(早期相談、面談の実施)</li> <li>・クラス日誌、学生とのコミュニケーション等で確実な個人把握を行う。</li> <li>・孤立、悩み、いじめなどの状況を教職員全体で共有し全体で対策・指導を徹底して行う。</li> <li>・グループ学習を推進し協調性や、責任感、思いやりの構築を図る。</li> </ul> <p>④<b>定員充足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校訪問による学校連携と信頼関係構築</li> <li>・来校型事業の実施、改善(オープンキャンパス、体験入学、見学会)</li> <li>・訪問型事業の実施、改善(学校説明会、職業説明会、体験授業)</li> <li>・インターネット媒体の拡充(ホームページ、動画、SNS等)</li> </ul> <p>⑤<b>学校生活環境の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内オンライン化を図るため校内施設にWi-Fiを設置</li> <li>・新型コロナウイルス対策の徹底(マスク着用、換気、消毒、衛生指導など)</li> <li>・学生による教員対象アンケートの実施。</li> <li>・学習計画やシラバスを明確に示す。</li> <li>・研究授業を行い教員間で授業の質を高める。</li> </ul>

## 目 次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

### \* 本評価書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 5：最良    | 非常に適切な対応をしている                     |
| 4：適切    | 適切な対応をしている                        |
| 3：ほぼ適切  | 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される     |
| 2：やや不適切 | やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある |
| 1：不適切   | 対応が全くできていない                       |
| NA：     | 該当なしまたは未実施                        |

①教育理念・目的・人材育成像

評価	
総合評価 <b>3</b>	
評価結果 (総括)	個人単位では理解あるものもいるが、それが学校全体に浸透していないのもまた事実である。 医療従事者としての人材を育てる上で職員学生共に理念を念頭に置いておくことこそ重要であるため、その点が浸透していない状況は改善すべき点である。
取組状況 と その分析	ホームページで公開しているが、教育理念まで確認した上で入学希望する学生は少ない。
今後の 改善 方策等	職員に周知徹底するため朝礼、職員会議時での確認 学生に周知するためにオリエンテーションなどを通し周知する。入学時に教育理念の意義、意味を説明する。

1-1	<b>教育理念・目的・育成人材像(以下「教育理念等」)は、定められていますか</b>	
1-1-a	● 教育理念等はそれぞれ定められていますか	4
1-1-b	● 教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	3
1-1-c	● 学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	3
1-1-d	● 教育理念等を学校外に広く公表していますか	3
実施状況	教育理念の定めは開港当時からあり、その理念に基づき教育を行っている。 ホームページなどで理念は公開しているが、周知状況としてはまだまだ不十分であり改善が必要。	
確認資料	ホームページ	
1-2	<b>社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか</b>	
1-2-a	● 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構造を描いていますか	4
1-2-b	● 地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	3
実施状況	地域の医療現場の状況など、病院と連携を取りながら地域のニーズに合った教育を進めている。	

②学校運営

評価	
総合評価 <b>4</b>	
評価結果 (総括)	<p>教育理念に沿った学校運営方針が定められている。</p> <p>就業規則をはじめとする諸規定を改めて見直し、働きやすい環境へと整備された。</p> <p>運営組織や意思決定機能は、月次全体会議等を通じ個人の意見も尊重されるようになった。</p> <p>学校自己評価をホームページ上で公開する等、情報システム化にも取り組んでいる。</p>
取組状況 と その分析	<p>運営方針に基づく事業計画を作成し、教職員の周知、教育活動の推進に当たっている。</p> <p>学校自己評価をホームページ上で公開している。</p> <p>姉妹校とのオンライン会議により、運営方針の確認、修正を行っている。</p>
今後の 改善 方策等	<p>学生、保護者の意見もとりいれながら各種組織・規則の見直しを柔軟に行う。</p> <p>コロナ渦にあり、十分な広報活動ができていないと言えない。新たな切り口で認知してもらう必要があり、SNSを有効的に活用していく必要がある。</p>

<b>2-1</b>	<b>運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか</b>	
2-1-a	● 運営方針は定められていますか	<b>4</b>
2-1-b	● 運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	<b>4</b>
2-1-c	● 運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	<b>5</b>
実施状況	<p>教育理念と教育目標に基づき、運営方針は定められている。</p> <p>運営方針については毎月の教職員会議を通じて周知を図り、浸透度を確認している。また、姉妹校との関わりも増し、よりよい運営ができるように改善を図っている。</p>	
確認資料		
<b>2-2</b>	<b>事業計画を作成し、執行していますか</b>	
2-2-a	● 事業計画を作成していますか	<b>5</b>
2-2-b	● 事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	<b>4</b>
実施状況	<p>資格検定合格率100%、募集定員充足に向け教務・広報・事務が連携して年間事業計画を作成している。</p> <p>また定例会議等を行い執行状況の確認を定期的に行っている。</p>	
確認資料		
<b>2-3</b>	<b>組織運営は適切に行われていますか</b>	
2-3-a	● 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規定等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されていますか	<b>4</b>
2-3-b	● 意思決定に至る手順・ルートは規定等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	<b>4</b>
実施状況	<p>就業規則に運営、その他の規則等が詳細に明記されており、規則に則り運営規定の整備、運営会議の開催、意思決定等を行っている。</p>	
確認資料	就業規則	

2-4	業務の効率化を図っていますか	
2-4-a	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	3
実施状況	学生または資料請求者等のデータ等をパソコン上で管理し、証明書やDM等または各種書類等の発行業務等を迅速に行えるよう効率化を図っている。またホームページ等で情報発信にも努めている。	
確認資料		

### ③教育活動

評価	
総合評価 <b>3</b>	
評価結果 (総括)	新型コロナウイルスの影響により、臨床工学技士国家試験合格や第2種ME技術実力検定試験合格に向けて十分な指導を行えたとは言いが、毎週学科会を開いて教員間で意見交換を行い、可能な範囲での指導力向上に努めた。 情報公開に関しては、学生便覧や本校ホームページ等を通じて行うことができた。しかし、キャリア教育や地域の特性を活かした教育、他の県内の学校と連携した教育は実施できていない。
取組状況 と その分析	カリキュラム通りに講義を行い、学生便覧やシラバスを元に成績判定を行った。併せて、カリキュラムや学生便覧の説明や入学時に説明を行った。また、学生に評価アンケートを実施したり、教員個々で学会や講演会に参加したりする等、指導力の向上に努めている。
今後の 改善 方策等	今年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、学生自身のキャリアを考えるきっかけとなる情報を掲示板等で公開したが、考える時間を別途設けることができなかつたので、その機会を徐々に増やせるよう努めたい。また、資格取得のための授業一辺倒な教育だけでなく、社会教育、公共マナーや地域との連携なども取り入れ、本校の教育理念である「愛・信・敬」に基づいた人材育成に努めたい。

◎目標の設定等	
3-1	教育理念、人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか
3-1-a	● 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか <b>3</b>
実施状況	関係法令に基づいた修業年限を設定しており、教員間で大まかな教育到達レベルを設定している。しかし、具体的に明文化できていない。

◎教育課程・教育方法・評価等	
3-2	教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか
3-2-a	● 教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか <b>5</b>
3-2-b	● 教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されていますか <b>5</b>
3-2-c	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか <b>5</b>
実施状況	学生便覧を各学生へ配布し、その中にカリキュラムが掲載されている。また、新入生オリエンテーション時に説明も行っている。しかし、ホームページ上に掲載する等、情報システム化の実用には至っていない。
確認資料	学生便覧
3-3	キャリア教育・職業教育(以下「キャリア教育等」)を実施していますか
3-3-a	● キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)(平成23年1月31日)の内容を参照していますか <b>2</b>
3-3-b	● キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか <b>2</b>
実施状況	鹿児島県臨床工学技士会と連携し、現場で働く技士による講演会の実施や学生の学会発表に取り組み始めた段階である。また、就職活動前の2年生に対し、医療機器メーカーの説明会へオンライン上で参加してもらい、自身の今後のキャリアを考えてもらうきっかけを作った。しかし、まだまだ自身のキャリアを考える機会は少ない。
3-4	授業改善のための取組みが行われていますか
3-4-a	● 学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか <b>3</b>
3-4-b	● 評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか <b>4</b>
実施状況	昨年度から学生に対し評価アンケートを実施し、間接的に教員へフィードバックを行っている。しかし、卒業生へ在学時の満足度を調査できていない。

◎成績評価・単位認定等		
3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定(以下「成績評価等」)の基準は明確になっていますか	
3-5-a	● 成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	5
3-5-b	● 成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	5
実施状況	成績評価等の基準は学則及びシラバスに記載し、学則は学生便覧として配布し、シラバスはホームページ上に公開している。また、卒業前に卒業判定基準を掲示し、学生に対しては教員が説明を行い、保証人に対しては学生自身で説明するよう指導した。	
確認資料	学生便覧、シラバス	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	
3-6-a	● 判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	5
実施状況	判定会議を開き、判定基準に従って成績評価等は適正に行われていた。	
確認資料	学生便覧、シラバス、成績報告書	

◎資格免許の指導体制		
3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	
3-7-a	● 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	5
3-7-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
実施状況	臨床工学技士国家試験受験資格取得のためのカリキュラムを組んでいる。また、第2種ME技術実力検定合格も目指せるようなカリキュラムになっている。カリキュラムは学生便覧上に掲載して配布し、シラバスはホームページ上に公開している。	
確認資料	学生便覧、シラバス	
3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	
3-8-a	● 資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況	国家試験や第2種ME技術実力検定合格に向けて、試験対策講座を行ったり、過去問を自由に受け取れる環境に整備したり過去問の解答をマークシート上に記述し、即日採点結果を学生へ配布して、個々の苦手分野を把握できるよう指導した。	

◎教員・教員組織		
3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	
3-9-a	● 教員数は関係法令等を満たしていますか	5
3-9-b	● 現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	3
実施状況	教員数は関係法令等を満たしている。	
確認資料	現況報告書	
3-10	教員の能力向上に向けた取り組みを行っていますか	
3-10-a	● 鹿児島県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	4
3-10-b	● 校内研修(OJT)を行っていますか	NA
3-10-c	● 企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	5
実施状況	例年と比較すると、新型コロナウイルスの影響により学外で行われる研修会に参加することが叶わないことが多かった。しかし、個々で可能な限り学会や講演会に参加し能力向上に努めている。	
確認資料		

◎地域に根ざした教育		
3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	
3-11-a	● 鹿児島県内の人材を活用して、授業を行っていますか	5
3-11-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
3-11-c	● 鹿児島県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	4
3-11-d	● 県内のほかの専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	1
実施状況	教職員の過半数が県内出身者である。また、各医療機関と連携し、3年次に臨床実習を実施している。県外にある姉妹校とは情報共有を行い学生指導へ活かしているが、県内にある他の専修学校・各種学校と連携した教育は行っていない。	
確認資料		
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	
3-12-a	● 学生が鹿児島県や各市・町の自然、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	1
3-12-b	● 交通安全教育を行っていますか	3
3-12-c	● 公共のマナーについて、教育・指導していますか	3
実施状況	県内の自然や文化に触れる教育を行っていない。交通安全教育や公共のマナーに関しては、その都度、口頭で指導を行っている。また、臨床実習前もマニュアル等を用いてマナー指導を行っているが、一部の学生には定着することができなかった。	
確認資料		

④学修成果

評価	
総合評価 <b>3</b>	
評価結果 (総括)	コロナ渦もあり、例年と比べスケジュール調整がうまくいかず、結果的に全員卒業には至っていない。
	社会情勢を見越したスケジュール調整、国家試験対策期間が必要である。また、教職員の指導力の向上とともに
	1,2年生時からの国家試験への意識付けが必要である。
取組状況 と その分析	国家試験 試験日前の為合格率不確定
	ME技術実力検定(コロナ渦のため希望者のみ受験) 合格率 2年生
	就職活動 国家試験合格の可能性が高いものから随時
今後の 改善 方策等	教職員の教育力の向上。
	就職活動時の面接、履歴書の書き方などの就職支援
	1,2年生時からの国家試験への意識付け

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	
4-1-a	● 国家試験合格率の目標設定をしていますか	<b>4</b>
4-1-b	● 取得率向上のための対策等を講じていますか	<b>3</b>
実施状況	成績ごとに教室をわけた上で個人ごとの達成目標を定め、個別指導を行っている。	
確認資料	学生便覧	
4-2	就職率の向上が図られていますか	
4-2-a	● 学生に就職に対する目標を立てさせていますか	<b>2</b>
4-2-b	● 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	<b>4</b>
実施状況	すべての求人を公開したうえで、各学生の希望に沿った、ニーズに合う病院の紹介を行っている。	
確認資料		

⑤学習支援

評価	
総合評価	
<b>4</b>	
評価結果 (総括)	担任を中心として学生個別相談を行える体制を取り、成績や学校生活、就職のこと等、その都度、指導できるよう努め、現時点での今年度の退学者数は全校で1名に留まっている。また、事務職員と連携し、経済的支援や生活環境支援に關しての説明を行い、必要な者が支援を受けられる体制を取った。しかし、卒業生の動向把握は十分とは言い難いので、可能な限り行っていきたい。
取組状況 と その分析	中途退学対策として1年生全員に対して半期に一度面談を行い、学生の状況を把握するよう努めている。また、問題のある学生に対しては学年を問わず、その都度面談を行い、担任が作成するクラス状況報告書により職員間で情報を共有している。経済的支援としては、奨学金説明会の実施や教育ローンの案内を行い、生活環境支援の一環として、民間不動産会社と連携して住居の紹介を行っている。
今後の 改善 方策等	まだまだ続く新型コロナウイルスの影響の中、十分な学生支援を行うことは難しいが、学生にとって実りある学校生活となるよう、今後も職員で協議し支援していきたい。卒業生の一定期間の動向把握は難しい面もあるが、可能な限り行っていきたい。

◎中途退学		
5-1	退学率の低減が図られていますか	
5-1-a	● 中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	<b>4</b>
5-1-b	● 中途退学防止のための対策を講じていますか	<b>5</b>
実施状況	本校では1年次での退学者が多いことから、先述した通り、1年生全員に対し半期に1回面談を行っている。また、欠席数の多い学生や成績不良の学生に対しては学年を問わず、その都度面談を行っている。	
確認資料	退学願（理由項目）	

◎就職等進路		
5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	
5-2-a	● 就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はありますか	<b>3</b>
5-2-b	● 就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	<b>3</b>
5-2-c	● より高度な学習・研究ができるよう大学等との併習または接続が可能な体制等を取っていますか	<b>3</b>
実施状況		
確認資料		
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	
5-3-a	● 企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	<b>5</b>
5-3-b	● 就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	<b>2</b>
5-3-c	● 履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	<b>5</b>
実施状況	求人票は掲示し、詳細は教室内でいつでも閲覧可能である。学生全体に対して就職説明会の実施はしていないが、ハローワークからの案内やインターネット上に掲載されている求人等は適宜紹介した。履歴書の書き方や面接の受け方等の指導は教員が分担して行うことができた。	

◎学生相談		
5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	
5-4-a	● 入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別相談・ヒアリングを行っていますか	5
5-4-b	● 学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応する体制がありますか	3
実施状況	先述した通り、1年生全員に対し半期に1回面談を行い、その他の学年に対しても何か問題がある場合、その都度面談を行っている。また、学生から相談があった場合は担任が相談の窓口となって対処できるよう努めた。	
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	
5-5-a	● いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	3
5-5-b	● いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	2
実施状況	教員が講義中や休み時間等で学生を観察したり、コミュニケーションを取ったりする中で、いじめや孤立等の異変を感じた場合は教員間で情報共有するように努めていた。しかし、それを解決するための体制は充分とは言い難い。	
確認資料		

◎学生生活		
5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	
5-6-a	● 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	4
5-6-b	● 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	4
実施状況	日本学生支援機構による奨学金、日本政策金融公庫による国の教育ローン、またその他金融機関の教育ローン等についても入学前、入学後それぞれ紹介を行っている。また学費の減免制度としては、入学選抜選考における専願系の入試合格者に対して授業料減額を設けている。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	
5-7-a	● 学生に対し、定期健康診断を実施していますか	4
5-7-b	● 有所見者の再検診について適切に対応していますか	4
実施状況	年に1度学生に対し定期健康診断を実施している。有所見者についても適切な指導のもと、再検診を行うよう促している。	
確認資料	健康診断費用請求書等	
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	
5-8-a	● 遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	4
実施状況	寮は整備していない。民間不動産会社と提携を行いアパート・マンションの紹介、また学生の負担を少しでも減らすべく、仲介手数料半額等の措置を講じている。	
確認資料	物件紹介依頼（川商ハウス）	

◎保護者		
5-9	保護者・保証人(以下「保護者等」)との連携を図っていますか	
5-9-a	● 保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていきますか	3
5-9-b	● 成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	1
5-9-c	● 緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	5
実施状況	本校では学生を一人の大人として扱っているため、基本的にはこちらから保証人に直接連絡することせず、伝達事項は学生本人から保証人へ伝達するように指導している。また、保証人へ伝達したかどうか、必ず学生本人へヒアリングも行っている。ただし、保証人側から学校へ直接問い合わせがあった場合には適宜対応している。	

◎卒業生・社会人		
5-10	卒業生の動向を把握していますか	
5-10-a	● 年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	3
5-10-b	● 卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	2
実施状況	卒業時に卒業後の連絡先等を調査・集計している。また、多くの卒業後の進路が臨床実習先の病院であることが多いため、実習先へ訪問する際、就業状況等の報告を受けている。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	
5-11-a	● 資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	3
5-11-b	● 再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	3
実施状況	国家試験に不合格した者は、聴講生として講義を受けたり、教員へ質問したりすることができる体制がある。転職を含めた卒業後の相談も担任であった教員を中心に受けるようにしている。	
確認資料		
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	
5-12-a	● 大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	1
実施状況	入学前の履修に関しての取扱いは明確に提示していないが、聞かれた場合は事務が説明するようにしている。	
確認資料	学生便覧	

⑥教育環境

評価	
総合評価 <b>4</b>	
評価結果 (総括)	コロナ渦での各階への教室振り分け、 機材など状況に応じて教育環境を整えることができた。
取組状況 と その分析	コロナ渦における教育環境の変化・・・zoomの導入、wifi環境の構築 マイク等の設置 加湿器の設置 非接触体温計の設置 アルコール消毒液の設置 学生生活における教育環境の変化・・・全館wifi環境構築、シーズンごとの学校設営
今後の 改善 方策等	リモート授業を導入した際の授業の質の維持

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	
6-1-a	● 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	5
6-1-b	● 施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	5
実施状況	医療機器やPCなどは学生にいきわたる数が十分配置されており、今年度はWi-Fi環境を整備し、ワイヤレススピーカー設置などコロナ渦のニーズに合わせて環境を整備した。	
確認資料	領収書	
6-2	校外の実習、海外研修等(以下「校外実習等」)について、十分な教育体制を整備していますか	
6-2-a	● 校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	5
6-2-b	● 校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	3
6-2-c	● 校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	4
実施状況		
確認資料	学生便覧、実習マニュアル	
6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	
6-3-a	● 防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	5
6-3-b	● 施設・設備の耐震化を図っていますか	5
実施状況	消防計画の届出はなされており、火災時には適切な避難ができるよう各職員担当を振り分けている。 しかし、火災以外の災害(地震や津波など)においては避難経路も曖昧なため今後改善が必要。	
確認資料	消防計画、危機管理マニュアル	
6-4	防災訓練等を実施していますか	
6-4-a	● 学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	4
実施状況	例年年に1度火災を想定した防災避難訓練を行っている。ただし、今年度においてはコロナ渦で消防隊が来れず、自主訓練となったため例年よりは劣る内容。	
確認資料	防災計画	

⑦学生募集と受入れ

評価	
総合評価	
<b>5</b>	
評価結果 (総括)	昨年度のやり方を引き続き実行した結果、定員以上の募集があった。
	オンライン関係の広報活動、媒体をおこなったのも資料請求者の増加に繋がり奏功した。
取組状況 と その分析	ホームページのリニューアル。パンフレットの新規作成、学校紹介動画の作成、店舗へのチラシ掲示
	オープンキャンパスの仕様の変化、出張オープンキャンパス、体験入学の内容変更など
今後の 改善 方策等	一次試験の時点で定員以上の申込みがあった。(定員40 受験者総合48)
	今後も基本的なやり方は同じ方針で行くが、変更すべき箇所は見直して改善していく。
	高校への広報活動は社会情勢を考えながら適時おこなっていく。

<b>7-1</b>	<b>学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか</b>	
7-1-a	● 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	<b>4</b>
7-1-b	● 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	<b>5</b>
7-1-c	● 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	<b>5</b>
7-1-d	● 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	<b>5</b>
実施状況	コロナ渦のため、高校への訪問は最小限の回数で行っている。説明会等も多く中止になっていたため募集活動は主にホームページ、動画、SNSを主体とし、オープンキャンパスも夏以外は完全予約の個別で行った。	
確認資料	学校案内、学校ホームページ、募集要項、高校訪問報告書	
<b>7-2</b>	<b>授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか</b>	
7-2-a	● 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	<b>4</b>
7-2-b	● 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応していますか	<b>5</b>
実施状況	入学金、授業料、教材費など大きなものについては金額の明示を行っている。その他の費用については、個別に明細等が必要と相談を受けた場合に個別で明細を明示している。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項、領収書	
<b>7-3</b>	<b>社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか</b>	
7-3-a	● 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	<b>4</b>
7-3-b	● 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	<b>5</b>
実施状況	現役、社会人など関係なく同条件で募集を行っている。独自の授業料減免制度は、専願選考による評定値での授業料減免と離島から進学する方への授業料減免を行っている。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項	

⑧財務

評価	
総合評価	
評価結果 (総括)	<p>本法人の財政基盤は現時点、安定している。</p> <p>学校法人会計により適正な会計処理が行われている。</p>
取組状況 と その分析	<p>法人、理事会、評議員会と複数によるチェック体制の下、予算編成を行い、会計監査は税理士によるチェック 監事による監査を行い、決算書は適正である。</p>
今後の 改善 方策等	<p>少子化に伴い、専修学校への進学者数の減少が進む今後も、ハード面、ソフト面ともに教育の質を落とす事 なく、経費削減・節約に努めていく。</p>

8-1	学校及び設置者(法人)の収支、財政基盤は安定していますか	
8-1-a	● 出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	5
8-1-b	● 収支と支出のバランスが取れていますか	5
8-1-c	● 設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	4
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。	
確認資料	財務書類、決算書	
8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	
8-2-a	● 予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	4
8-2-b	● 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	4
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。 また、財務部から各部署への報告等を密に行っている。	
確認資料	予算書、財務書類	
8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	
8-3-a	● 会計監査体制のルールが明確化されていますか	5
8-3-b	● 会計監査の結果報告が文書化されていますか	5
8-3-c	● 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	3
実施状況	公開希望者には公開する準備は行っているが、積極的に取り組んでいるとは言えない。	
確認資料	決算書、寄附行為	

⑨法令等の遵守

評価	
	総合評価 <b>5</b>
評価結果 (総括)	専修学校設置基準及び養成施設指定規則の関係法令に基づき、就業規則、学則、ハラスメントの防止に関する規定等を整備し、適切な運営がなされている。
取組状況 と その分析	就業規則、学則、ハラスメントの防止等に関する規則等について教職員へ周知徹底すると共に、学生に対してはオリエンテーション等を通じて規則の遵守を指導している。 情報漏洩防止策としてリムーバブルメディアの取り扱い、インターネット使用環境の制限を行っている。 自己評価結果をホームページに掲載している。
今後の 改善 方策等	個人情報の取り扱いに関しては教職員間で連携し、日々の注意喚起や情報の共有を行っていく。 教職員の情報公開が十分でないので今後情報公開を行っていく。

<b>9-1</b>	<b>専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか</b>	
9-1-a	● 監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	<b>5</b>
9-1-b	● 学校運営に必要な諸規定を整備し、それを適正に運用していますか	<b>5</b>
9-1-c	● セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行していますか	<b>4</b>
実施状況	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令を遵守し、適正な運営をしている。	
確認資料	就業規則、学則	
<b>9-2</b>	<b>個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか</b>	
9-2-a	● 個人情報の取扱いについて、規定・方針を策定していますか	<b>4</b>
9-2-b	● 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	<b>4</b>
9-2-c	● リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	<b>5</b>
実施状況	個人情報の取り扱いについてはその重要性を教職員が十分に認識し、情報漏洩が発生しないよう情報保護を行っている。	
確認資料	就業規則	
<b>9-3</b>	<b>自己評価を実施し、その結果を公表していますか</b>	
9-3-a	● 自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	<b>5</b>
9-3-b	● 実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	<b>4</b>
9-3-c	● 自己評価結果を報告書にまとめていますか	<b>5</b>
9-3-d	● 自己評価結果をホームページ等に掲載するなど公表していますか	<b>5</b>
実施状況	自己評価結果を平成29年度よりホームページにて公開した。	
確認資料	学校ホームページ	

9-4	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-4-a	● 学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	5
実施状況	学校内容、教育内容については学校案内・ホームページに公開している。教職員の情報については公表は十分でない。	
確認資料	学校案内、募集要項、学校ホームページ	

⑩社会貢献・地域貢献

評価	
総合評価 <b>3</b>	
評価結果 (総括)	地域や関係団体などのイベントには積極的に参加してもらいたいのが学校の真の意向であるが、コロナ渦において医療従事者を志す者として、感染拡大に繋がるような行動に促すのが難しいのもまた事実である。 このような状況下でも地域とも繋がっていけるよう今後考えていく必要がある。
取組状況 と その分析	掲示や口頭案内など学生への周知は徹底的に行っている。
今後の 改善 方策等	オンラインのイベントへの参加など感染リスクのない手段は推奨するとともに、全てに参加するのではなく、感染状況に応じて行くべきイベントと、そうでないイベントを学校、学生共に考え判断し、なるべく地域と繋がることができるよう変えていくべきである。

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	
10-1-a	● 地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)等を積極的に受託していますか	2
10-1-b	● 地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	NA
実施状況	臨床工学技士会の学会や、特別講師における講演など、関連業界の講座を積極的に取り入れている。	
確認資料	決裁伺書、報告書、領収書	
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	
10-2-a	● 学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
10-2-b	● 教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	3
実施状況	県や専修学校協会からのボランティア等の案内は掲示等で周知しているが、コロナ渦のため、あまり推奨はしていない。教職員は毎朝学校周りの道路などの清掃を行っている。	
確認資料		
10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	
10-3-a	● 学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	4
10-3-b	● 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っていますか	1
実施状況	県や専修学校協会からのボランティア等の案内は掲示等で周知しているが、コロナ渦のため、あまり推奨はしていない。	
確認資料	報告書	

10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	
10-4-a	● 高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	5
実施状況	代理店を通じた学校説明会や高等学校と連携し、体験型授業等を行っている。	
実施状況	体験入学の開催、地方に出向く出張オープンキャンパス、また広報業者が主催する説明会など積極的に行い参加している。	
確認資料	領収書 購入申請書 報告書	

⑪総括

評価					
				総合評価	3
評価結果 (総括)	全体を通して前年度より様々な点で改善している。				
	定員充足、退学者の減少、学校施設環境の向上など ただし遅刻欠席者はやや増加				
	あらゆる面で結果として反映されている。				
取組状況 と その分析		国家試験	充足率	退学率	
	昨年度	100%	100%	4.1%	
	今年度	—%	100%	0.9%	
今後の 改善 方策等	重点目標においてはおおむね達成。指導力の教員間の格差の是正が必要。				
	ただし学校の方針が大きく見直されている中円滑な学校運営がなされていない部分もある。				
	学校評価をもとに次年度以降の学校運営の向上を目指す。				

11-1	学校評価の実施について評価してください	
11-1-a	● 学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していましたか	3
11-1-b	● 学校評価を積極的に実施できましたか(受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか)	3
11-1-c	● 評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	2
11-1-d	● 学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	3
11-1-e	● 評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	4
実施状況	自己評価に関して興味や意義を感じない職員も中にはいる。この評価を次年度への改善に繋げてもらいたい。	
確認資料		

#### 4.自己評価結果(総括)

評価	4
----	---

目標達成状況	<p>①目標資格合格率100%(卒業延期者を極力減らす) →合格率は3/8以降に公開、卒業延期者2名</p> <p>②就職内定率100% →未達成(3月末で結果は変わるため現段階では評価不可)</p> <p>③欠席遅刻者、退学者、留年者の減少 →欠席遅刻者:やや増加 →退学者減少:減少(1名 2/28時点) →留年者(卒業延期者):減少(2名)</p> <p>④定員充足 →達成(専願1次選考で48名受験40名合格)</p> <p>⑤学校生活環境の向上 →全館オンライン構築 SNSやインターネットを駆使した情報発信を促進</p>
今後の課題・改善方策	<p>運営方針が今年度より国家試験100%を目指すのではなく、極力多くの学生が国家試験に挑戦し、なお合格できるというものへ切り替わった。しかしながら卒業延期者は2名出てしまい、全員受験は達成できていないため、教育の質、スケジュールの見直し、またアドミッションポリシーに基づく学生募集等で努力することが不可欠である。</p> <p>今年度は運営方針が大きく見直され学校の形態がより良い形に変化した年度であった。これとと同時に初めての試みも多く、また新型コロナウイルスの感染状況なども相まってスムーズな運営という観点では中々うまくいかない部分も生じた。</p> <p>次年度以降はこの新しい体制をより円滑に進めていくこと、また学生生活が快適でハイブリッドに行われるよう運営方法の具体策を考え取り入れていくことに重視し取り組んでいく。</p>